

消防だより

令和4年(2022年)
7月未現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 9件
救急 : 781件
救助 : 10件

令和4年度全国統一防火標語「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

救急搬送件数

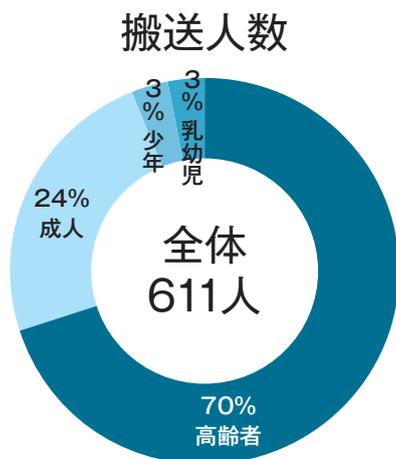
令和4年(2022年)1月～6月

令和4年(2022年)上半期(1月～6月)の救急出動件数は672件、搬送人数は611人でした。昨年の同期間に比べ出動件数は90件、搬送人数は71人と、それぞれ増加しています。

救急搬送人数を年齢別に比較すると、高齢者が427人と最も多く、全体の約70%を占めています。成人は150人、少年は17人、乳幼児は17人、新生児は0人でした。

※新生児/生後28日未満

乳幼児/生後28日以上～満7歳未満
少年/満7歳以上～満18歳未満
成人/満18歳以上～満65歳未満
高齢者/満65歳以上



蛍光灯照明器具にLEDランプを取り付ける場合は要注意!

町内のご家庭において、長年使用してきた蛍光灯照明器具の蛍光灯をLEDランプに取り替えて使用していたところ、約3年後にLEDランプから出火する火災が発生しました。被害はLEDランプと照明器具に留まりましたが、家屋が燃える火災になっていてもおかしくないよう

な状況でした。蛍光灯からLEDランプに取り替える際は次の点に注意してください。

- ・ 注意表示をよく読み、照明器具の点灯方式に合ったLEDランプを選ぶ。
- ・ 取り替え方法の注意点を確認する。

※一般的に照明器具は10年を過ぎると故障しやすくなります。長年使用している場合は、ランプのみの交換ではなく、照明器具ごとLED専用タイプに交換することを推奨します。



救急の日

毎年9月9日を「救急の日」、この日を含む1週間を「救急医療週間」としています。救急業務および救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的として昭和57年(1982年)に定められました。

例年、当本部でも救急医療週間に合わせて日曜救急講習会を開催していましたが、今年も新型コロナウイルス

病院の案内

「救急車を利用するほどではないけど、受診できる病院がわからない」という方に、受診可能な医療機関を案内しています。

- 和歌山医療情報ネット
スマートフォンやパソコンなどで「わかやま医療情報ネット」と検索する。
- 救急医療情報センター ☎ 073-426-1199 (24時間対応)
- こども救急相談ダイヤル(平日19時～翌朝9時、土日祝9時～翌朝9時)
☎ # 8000(プッシュ回線・携帯電話) ☎ 073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

ルス感染症の影響により、開催を見合わせることもありました。救急現場においても、新型コロナウイルスの影響は大きく、救急隊も今まで以上に奮闘しています。今一度、救急医療にご理解ご協力をお願いいたします。